

浜松市カーボンニュートラル推進協議会 ゼロカーボン・ショートピッチ

会員企業が、会社概要や脱炭素の取組・課題等について短時間で発表し、交流する機会を設けます。会員企業を知る機会を設けることで、異なる規模や業種の企業間マッチングを促し、脱炭素関連技術・サービスの創出や会員企業のGX実現につなげていきます。

日程 2026年6月19日（金）

時間 14:30～16:45（14:00開場）

会場 アゴラ浜松（㈱静岡銀行浜松営業部）6階会議室
※浜松市中央区田町322-7（JR浜松駅から徒歩5分）
※お車の場合、銀行駐車場の利用は控えて頂き、周辺のコインパーキングをご利用ください。

主催 浜松市カーボンニュートラル推進協議会／浜松市

定員 80名（先着順。協議会会員以外も市外企業も参加可能です。）

参加費 無料

※一社から複数名の参加も可能です。多くのご参加をお待ちしております。

プログラム

1. 趣旨説明（事務局）
2. ショートピッチ（※発表企業は別紙参照）
約15社（各社5分）
会社概要・脱炭素のニーズ・シーズを発表（PDF2枚程度）
3. 名刺交換・意見交換
会場内に発表企業ごとにブースを設け、
発表企業と参加企業の交流を図ります



※（㈱静岡銀行浜松営業部）アゴラ浜松
会場のアゴラ浜松は、写真左側のビルです

「懇親会」

時間：2026年6月19日（金） 17:15 ～ 18:30
会場：遠鉄百貨店新館13階スカイテラス（浜松市中央区旭町12-1）
会費：4,000円
※催行人数に満たない場合、中止となる場合もございます。

申込方法 「申込フォーム」からお申し込みください
<https://logoform.jp/f/pgaxq>

締め切り 2026年6月16日（火）まで



● **2026年6月19日（金）14:30～16:45 「ゼロカーボン・ショートピッチ」発表企業・団体**

No	企業名	所在地	タイトル
1	アンヴァール(株)	浜松市中央区中島二丁目	海水からのCO ₂ 回収（ダイレクトオーションキャブチャー）（仮）
2	STプロモーション(株)	浜松市中央区大島町	浜松で開発された室外機用遮熱塗装が今全国各地で採用中！初期費用が3年で回収でき、全国の企業から大反響をいただいています！（仮）
3	NGK(株)	名古屋市瑞穂区須田町	エネルギーソリューションの取組紹介
4	ALCA合同会社	東京都千代田区神田須田町一丁目	AI搭載型LCA算定ツール ALCA
5	CCJ(株)	東京都渋谷区渋谷三丁目	中小企業でも始められるGHG排出量の見える化（仮）
6	(株)静岡銀行	静岡市清水区草薙北	しずおかGXサポートZについて（仮）
7	(株)シナジー研究所	東京都港区虎ノ門四丁目	生成AIによる生産計画の立案
8	シナネン(株)	東京都品川区東品川一丁目	オフサイトPPAによる脱炭素経営とシナネンでんき取組紹介
9	日本化薬(株)	東京都千代田区丸の内二丁目	NEDO ムーンショットPJにおける電気化学的CO ₂ 回収技術の取組
10	パイフォトンクス(株)	浜松市中央区天王町	光パターン形成LED照明「ホロライト・シリーズ」最小限のエネルギーで、最大限の景観価値を。～ホロライトが実現するクリーン・ライトアップ・ソリューション～（仮）
11	発電マン(株)	静岡市駿河区見瀬	築30年以上経つ古いスレート工場屋根を再エネ拠点にする～「静岡県SDGs ビジネスアワード奨励賞受賞」ビジネスプラン～
12	(株)フジイチ	浜松市天竜区船明	天竜の杉檜と生きる
13	(株)ライスレジン	東京都港区高輪二丁目	プラスチックは“お米”で変える。環境素材「ライスレジン」の挑戦！

※ 発表企業・団体様の最新情報は、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/event/shortpitch6.html>



本協議会では、ゼロカーボン・ショートピッチ等を通じて、会員企業同士が連携し、脱炭素関連の新たなプロジェクトが動き出しています。

プロジェクト創出件数
約20件（累計）

ユニバンス×4建設会社

バイオディーゼル製造・利用に向けた課題整理

- 株式会社ユニバンス
廃食用油由来のバイオディーゼル製造・利用事業に向けて、協議会会員企業へのヒアリングを実施
- 協力企業
・ 須山建設(株) ・ 東急建設(株)
・ 常盤工業(株) ・ 西松建設(株)

植物油や動物性脂肪を原料にして作られる再生可能な環境に優しいディーゼル代替燃料

主な原料	製造方法	特徴と利点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃食用油（てんぷら油など） ・ 工業油（F7/F7E/F7C） ・ 菜種油（ごま油） ・ 動物性油脂（牛脂・鶏脂など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エステル化反応（触媒：メチルエステル）という化学反応によって作られる。 ・ 原料がバイオ燃料が環境にやさしい反応である。バイオディーゼル（FAME: Fatty Acid Methyl Ester）と呼ばれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃油の活用は再生可能な環境に優しいディーゼル代替燃料 ・ 炭素を土壌中の微生物が吸収したCO₂を排出するだけのカーボニュートラルとされる。 ・ ディーゼルエンジンで使える（100%使用 or 軽油混合も可能） ・ 魚分解性があり自然環境で分解されやすく、海洋投棄の環境汚染リスクが小さい。

丸友開発× シンコムアグリテック

解体現場の「茶ノ木バイオ炭」（地産地消の実装）

- 丸友開発株式会社
解体工事、土木・建設工事を行う地元企業
- シンコムアグリテック株式会社
農業由来のバイオ炭製造技術を有する農業関連スタートアップ
- 取組内容
建築物解体時の杭引抜き後の杭穴埋戻し材にお茶の木由来のバイオ炭を混合し、資源循環を検討

解体現場への「茶ノ木バイオ炭」地産地消の実装構想

- 廃棄物に多数の基礎杭が埋戻し材として使用される（例：1棟1棟で約100～200t/年）
- 廃杭引抜きを本場地区に導入し、本場地区によるコスト・エネルギー削減
- 廃棄物の茶ノ木をバイオ炭へリサイクルし、CO₂削減に貢献
- 建設廃材とバイオ炭を混合し杭穴へ埋戻し

明石石油×日本板硝子

真空断熱ガラスの販路拡大（リソースの最大化）

- 明石石油株式会社
強み：豊富な営業力による地域密着型の一貫体制を構築
- 日本板硝子株式会社
課題：営業力不足による真空断熱ガラスの新たな販路の開拓
- マッチング
脱炭素・省エネの提案の際に明石石油の販売網を活用し、販路の開拓と拡大を実現

2025年4月～12月 真空断熱ガラス営業の活動結果

- 目標営業：254社 高着率81.7%
- デモ機実演：85社
- WEBセミナー：14社参加（2025年9月開催）
- 産業界（フェア）のイベント出席（11/7～8開催） 名刺交換：48社
- 見学会実施：27社
- 成約：2社 予算1億円、12社